平成27年	F度事務事業評	価シート	該当事業(評 一般事務	福対象外事業は基本 公共建設事業	本情報のみ記載) ┃評価対象外事業
事系	§事業名	私立児童運営	事業		
予	算科目	3款 2	! 項 4 目		
総合計画	での位置付け	福祉の向上と 少子化対策の		実~やすらぎとぬくも <sup>(</sup>	りのまちづくり~
所管	管課情報	担当課:	子育て支援課	電話番号(内線):	: 552
記力	人者情報	所属長: i	西川 重子	担当責任者:	下岡 裕基
事業	美の性格 あんしゅう	内部管理事務	;		
実	施期間	【開始年度】 平	· 成 17 年度	【開始年度】設定なし	
事業	美の対象	市内に居住し、保育に欠	ける0~5歳児のいる世帯で、	. 仕事の関係等で市内私立保育所(さ	さくら幼児園)に入所を希望する人
根拠法令等	児童福祉法	-			
事業の目的				児及び児童が保育に欠けるように表する。   では、	
事業の内容	保護者の仕事の都合 <sup>7</sup> る保育を運営委託して			び児童の市内私立保育院	所(さくら幼児園)におけ
改善策の 具体的 取り組み (当初)	毎月開催の園長会を道	通じて、滞納状況に	こついて協議・検討を	行っていく。	
改善策の 具体的 取り組み	新設の園と既設の園と	:の運営委託のバ <sup>:</sup>	ランスを考慮し、委託	料、補助金等の適正化に	こついて検討していく。

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
	直接事業費	208,652	10,117	0	2,638
事業費	人件費	1,193	1,608	1,608	1,608
	合計	0	11,725	1,608	4,246
	人工数	0.15	0.20	0.20	0.20
人件費	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,193	1,608	1,608	1,608
	国庫支出金	25,546	0	0	447
	県支出金	99,639	5,520	0	447
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	12,286	0	0	0
	一般財源	72,374	6,205	1,608	3,352

	事業活	動の実績(活動	协指標)		
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
民間保育所箇所数	箇所	1	1	1	1
民間保育所入所児童数	人	59	75	83	89

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
午亩	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
年度	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000

		成果指標		
成果指標	民間保育所箇所数			
指標設定の 考え方	さまざまな保護者の保育二 移行していく必要がある。	一ズと待機児童の解消に努	めていく上で、民間保育所の	)設置及び公設民営化に
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	1	2	3	3
実績	1	0	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性	5	
	妥当性	市民ニーズへの対応	5	Α
		市の関与の妥当性	4	
自己評価	事業の効果	4		
(担当責任者)	<sub>田 小 善 仁 老 〉</sub>	成果向上の可能性	4	В
()))		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	4	В
		受益者負担の適正	4	
課題認識	子とも・子育 C 文援新 業を継続していく必要	制度の実施において、延長保育事業は必要不可欠な事がある。	<b>兼の一つでめ</b>	る。 学俊も事

		一次評価		
		目的の妥当性	5	
	妥当性	市民ニーズへの対応	5	Α
		市の関与の妥当性	4	
一次評価	事業の効果	4		
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	4	В
(加高以)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	4	В
		受益者負担の適正	4	
		して、働く保護者にとって延長保育事業は重要な事業で	であるため、継	続して進めて
	いく必要がある。			
課題認識				
				İ

	二次評価
二次評価	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
(所属部長)	
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	